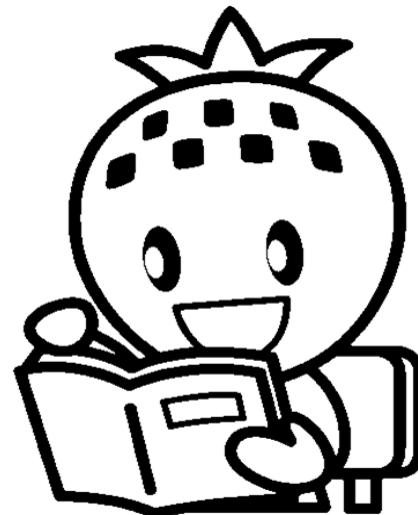


どの本 ほん よもうかな…

Vol.27

～よしみ図書館のすすめる本～



よしみちょうりつとしょかん
吉見町立図書館

で　あ
出会って欲しい…

じんせい　いろど　たし　いっさつ
人生を彩る確かな一冊

たくさん　ほん　まえ　にして
どの本よもうかな…　と悩んだことが
ありませんか。
このリストは図書館が選書の一助になればと
さくせい　作成したものです。
みなさんがたくさんの良書と出会いえますように…



どの本よもうかな… Vol.27

2025年11月発行

吉見町立図書館（図書交流館内）吉見町大字中新井500-1

☎ 0493 (54) 1517 FAX 0493 (54) 2031

ネコになりたかったクモのルイージ

ミシェル・ヌードセン さく/ケビン・ホークス え
/福本友美子 やく 岩崎書店

みなさん、クモというと どんなクモをおも
いかべますか？

ちい
小さくて ちゃいろいろクモ でしょうか、あ
しがながくて くろときいろのしまもようのク
モでしょうか？

このおはなしにでてくるクモは、てのひらく
おお
らい大きくて けむくじゅらのクモです。なん
とネコにまちがわれてしまうほどです。

ネコとしておばさんと
くらすことになったクモ
のルイージは、ばれずに
くらせるのでしょうか。

どきどきして、さいご
にはあたたかいきもちにな
るおはなしです。



にわ リパのおいしい庭づくり

福井さとこ 作・絵
のら書店

リパは、うでのいい庭師です。

このおはなしは、リパが小学校にいくところ
からはじまります。小学校の庭づくりをたのま
れたのです。リパは、かんりにんのミルコと子
どもたちといっしょに庭をつくりはじめます。
たべのこしや、かれ葉からつくった たい肥と
土をまぜて、そこにやさいとハーブのたねや
なえをうえて…。

どんなすてきな庭が
できるでしょうか。

よむとじぶんの庭を
つくりたくなるおはな
しです。



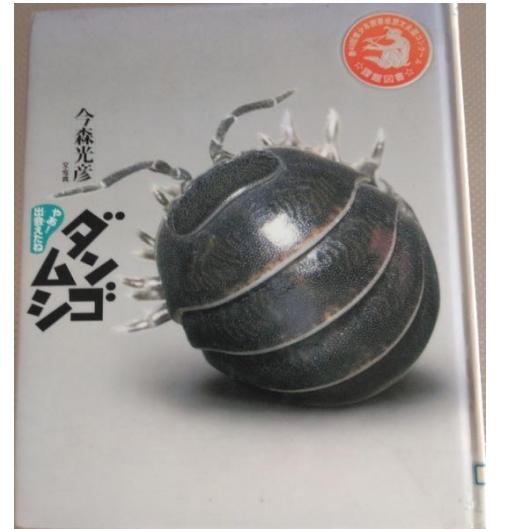
ダンゴムシ

今森光彦 文・写真
アリス館

ダンゴムシを見たことありますか。枯葉の下
や、日陰にかくれている虫ですね。

虫といっても昆虫ではないんです。では、ど
んなものの仲間なのでしょう。写真や文章でわ
かりやすく紹介されています。ダンゴムシの赤
ちゃんのこともしっかり出てきます。

落ち葉の下を
のぞいてみたら、
ダンゴムシばかりでなく色々な
虫が…。



アマガエルとくらす

山内祥子 文／片山健 絵
福音館書店

アマガエルが脱皮するって知っている?
これは、作者がアマガエルと14年くらした
生活の中で見つけたたくさんのふしきです。

作者が流しの中で見つけた一匹の「アマガエル」。毎年、同じ季節に流しにやってきて、ついに家にいついてしまったアマガエルと、じっくりつき合った作者がつけた記録です。

「よおーく見ること！」
これが科学には
大事なことなん
だね。



じゅげむの夏

最上一平 作／マメイケダ 絵
偕成出版社

このおはなしは、「ぼく」の4年生の夏休み
のおはなし。

「ぼく」には、同じ集落のともだちが3人い
る。そのうちの一人かっちゃんは、筋ジストロ
フィーという病気だ。筋肉がだんだんやせてい
く病気で、今はゆっくりとしか歩けない。

そんなかっちゃんが「4年生の夏休みを最高
の夏休みにしようよ」と宣言した。ねがいをか
なえてあげたくて、ぼくらは綿密に計画をねつ
て冒険に出かけることに…。



机の下のウサキチ

岡田淳 作
偕成社

おじいちゃんの家でひとりでるすばんをして
いた小学生の一平。おじいちゃんの家が雷で停
電になり、書斎の古い机の下にもぐりこむとそ
こはふしきな野原だった。

ふしきな野原を歩いていくと、ウサキチとい
うなまえの大きなウサギにキョチとよばれ、
ずっとまっていたと言われる。

一平は、ウサキチがかなしそうにするのをき
のどくに思い、キョチ
のふりをしてウサキチ
のなくしたはねる力を
とりもどすために旅に
で出ることにする。
こころはずむ冒険ファ
ンタジー。



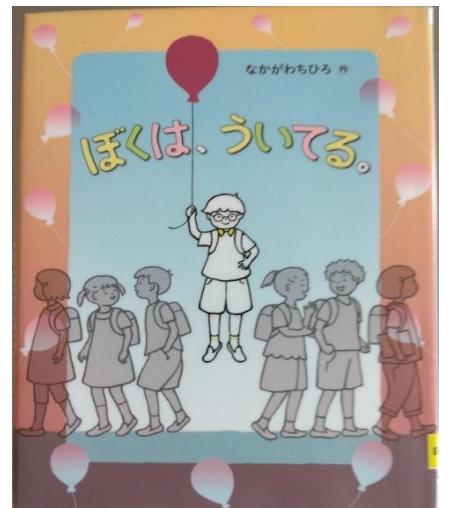
ぼくは、ういてる。

なかがわちひろ 作
のら書店

一平くんは、ときどきういてる。たいくつして、ほかの人とちがうこととかんがえているときや、なにかにむちゅうになってるときに、うきやすい。

そんな一平くん、ある日おなじクラスの山田ほのかさんも、ういてることにきづいた。はなしてみたら、一平くんがういているのは、ばればれだって。ほのかさんとたのしくおはなししてスキップしてかえった。

でも、次の日にほのかさんは、ういてなくて…。



リリの思い出せないものがたり

たかどのこうこ 作／高橋和枝 絵
ポプラ社

リリちゃんには、どうしても思い出せないことがあります。2歳くらいのときに、おばあちゃんの家の庭で、なにかとてもおもしろいような…、ふしぎなような…、とにかくとてもとてもいいものを見たような気がするのです。

小学2年生の夏、リリちゃんはおばあちゃんの家で、おばあちゃんのお友だちのフサ子さんに会います。

フサ子さんと、おばあちゃんの家の思い出をはなしていたら、ふしぎなきもちになって…。

リリちゃんは思い出せないことを思い出せるのでしょうか？



トクベツキューカ、はじめました！

清水晴木 作／いつか 絵
岩崎書店

みなさん、一年の中で一日だけ好きな日に学校が休めるのなら、どんな事をしますか？このおはなしは、一年の中で一日だけ学校を休める特別な校則のある小学校のおはなしです。雪が嫌いだから雪の日に休みを取った凛、友だちで板挟みになって迷っているさくら、友だちと自転車旅行に行くために休みを取った悠真。

他にも特別休暇をめぐって様々な思いや悩みを抱えている子達が迷いながら成長していく姿を描いた短編集です。

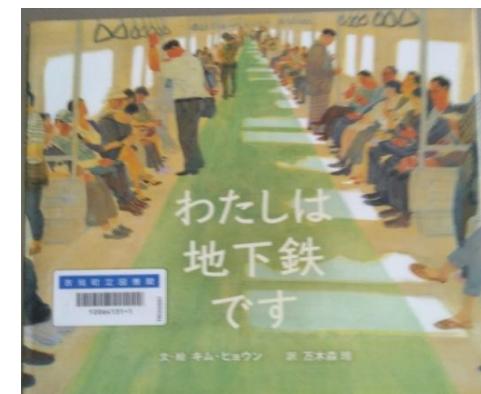


わたしは地下鉄です

キム・ヒョウン文・絵／万木森玲 訳
岩崎書店

このおはなしは、ソウルの地下鉄のおはなしです。地下鉄は、毎日色々な人をのせて走ります。かけっこが得意なワンジュさんや、娘と孫が好きなタコとアワビを海からとってきたおばあさん、ふたりの子どもをつれたおかあさん、ほかにもたくさん。目には見えないひとりひとりの物語をのせて今日も走っています。

地下鉄のあたたかいおもいに、こころがあたかくなるおはなしです。



うみ 海にしづんだクジラ

メリッサ・スチュワート 文／ロブ・ダンラヴィ 絵
／千葉茂樹 訳／藤原義弘 日本語版監修 BL出版

うみ およ
海を泳いでいるクジラが死んだらどうなると
おも
思いますか？

クジラは死ぬと海にしづみ、たくさんの生き
ものた
るものに食べられます。深海でくらす生き物たちに
とって、クジラはたくさんの命をささえてくれ
るすばらしいおくりものなのです。

このおはなしは、どのようにクジラが深海の
いきものをささえるかがよくわかるおはなしで
す。深海の世界をのぞいてみましょう。



せかい なっとう たんけん 世界の納豆をめぐる探検

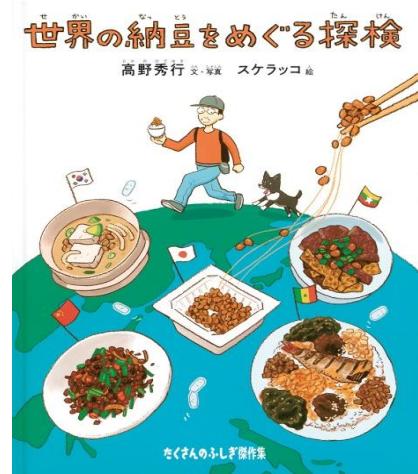
高野秀行 文・写真／スケラッコ 絵
福音館書店

ほん なっとう だいす たかの
この本は、納豆が大好きな高野さんが納豆について
しら
調べたことを書いた本です。

にほん いま むかしつく かた でんとうてき た かた
日本の納豆の今と昔の作り方、伝統的な食べ方か
がいこく さまざま
ら、外国の納豆の作り方、食べ方まで様々なことが書
かれてています。面白いのは、作り方や材料が違ってい
ても、ちゃんと納豆の味やにおいがすることです。

高野さんは、実際に様々な国に行き、作り方を見て
作った納豆を食べた

ようす
様子をくわしく書いて
いるので、読むと世界
の納豆を食べた気分に
なれます。知っている
ようで知らない納豆の
せかい たんけん
世界を探検してみませ
んか？



どうぶつ ぎそく
動物の義足やさん

沢田俊子 文
講談社

人間と同じように、動物たちにも義足や装具を使つて歩けるようになってもらいたい。動物用の義足や装具を専門に作る人がいない時代に、そう思い立った島田さんは会社に勤めながら動物病院へ通って、動物用の装具の勉強を始めました。

そして、今では獣医師の指導を受け、装具を装着する動物や飼い主に寄り添い作った装具は三万匹分になりました。

この本は、島田さんの一生懸命な姿に胸が熱くなる一冊です。



おお いぬ
マイヤーさんと大きくなりすぎた犬

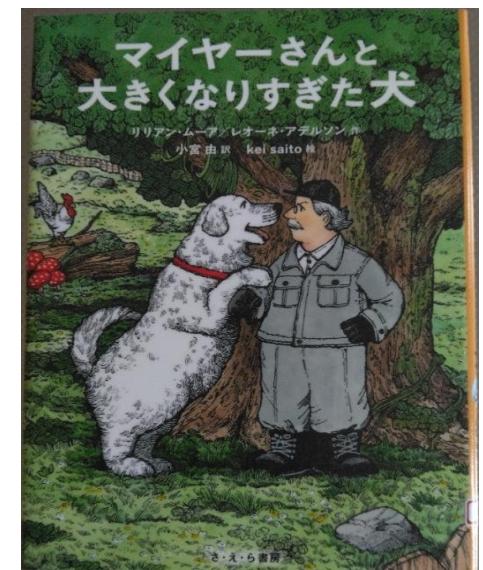
リリアン・ムーア、レオーネ・アデルソン作
/kei saito 絵/小宮由 訳 さ・え・ら書房

マイヤーさんは犬の捕獲人です。のら犬をつかまるひとです。のら犬だけではなく飼い犬をつれてゆくこともあります。マイヤーさんは、つれていった犬をどうしているのでしょうか？

ノディンさん一家は、あるペットショップで小さい白い犬を見かけました。白くころころしたとてもかわいい子犬でした。

そして、この犬に「バターボール」とな名づけ、飼うことになりました。

子犬は、どんどん、どんどん、どんどん、どんどん大きくなりました…。



ヨシ まんせん
3万7千キロをおよいだウミガメのはなし
リン・コックス文／リチャード・ジョーンズ 絵
／いわじょうよしひと 訳 あすなろ書房

このおはなしは、オーストラリアのはまべでアカウミガメのあかちゃんが生まれたところからはじまります。

アカウミガメのあかちゃんは、海をたびして大きくなっていきました。5年がすぎ赤ちゃんではなくなったアカウミガメは、ある日、あみにひっかかってしまいます。それをたすけてくれたのは、日本の漁船のりょうしさん。ヨシと名前をつけて南アフリカの水族館にあずけてくれました。その後、20歳になったヨシは、海にかえることになり…。ヨシはぶじにかえることができるのでしょうか？

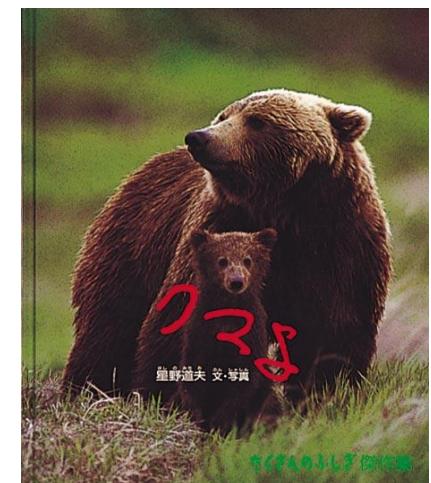
**クマよ**

星野道夫 文・写真
福音館書店

今年は、クマの目撃情報が日本全国で報告されています。果たして、クマは人間の敵なのでしょうか。里山にクマの好みの果物がなくなっていることにも一因があるのでは？

自然などが破壊され（温暖化の影響などにより）クマや野生動物と人間が共存する方法はないのかな？

クマを愛し、アラスカの自然の中で生きるクマとともに生き、そして死んだ星野道夫。彼の写真と言葉がしづかにあなたの心にしみるでしょう。
ともに生きる道、捜しませんか。



子ねずみウォルターはのんびりや

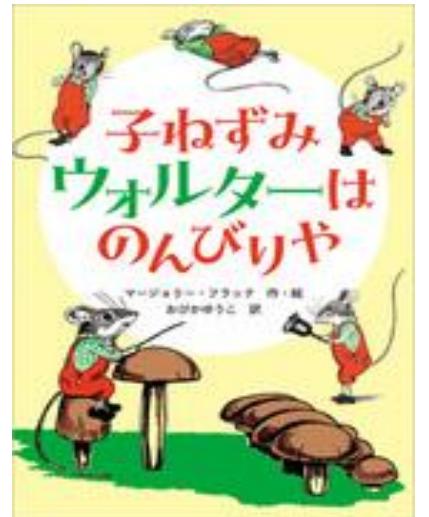
マージョリー・ブラック 作・絵
おひかゆうこ 訳 德間書店

ウォルターは、とてもんびり屋です。家族のおにいさんやおねえさんが朝ごはんを食べているとき、やっとぐずぐずきがえをして、みんなが出かけてしまうと、ようやくのんびり朝ごはんを食べるのです。

ある日、ウォルターが家にかかると、コンロもテーブルもベッドもいすもなくなっていました…。

そこでウォルターは、家族をさがしにいくことにしました。

ウォルターは、はしつてはしつて…。



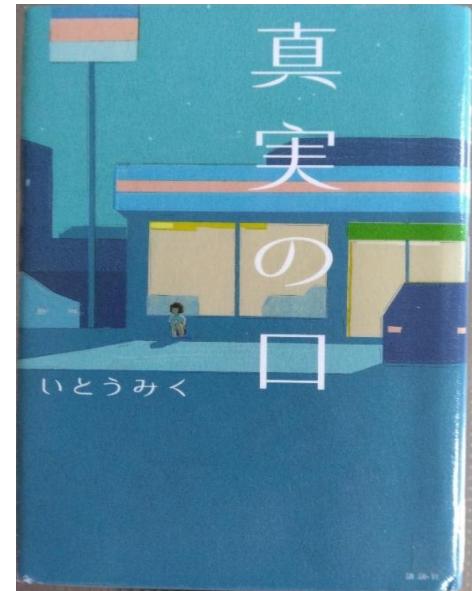
しんじつ くち 真実の口

いとうみく 著
講談社

中学三年の冬、おれは同じクラスの湊と隣のクラスの七海と一緒に、通りで座り込んでいた小さい女の子を交番へ連れて行った。違和感はあったけれど、それが正しいと思っていた。

でも、違和感は消えなくて、心のどこかでずっと引っかかってる。それは、湊も七海も同じだったみたいで、おれたちはたしかめることにした。

これは、おれが今まで気付かなかった大事なことに気付くものがたり物語。



としょかん たからもの
図書館がくれた宝物

ケイト・アルバス作／櫛田理絵 訳
 德間書店

第二次世界大戦中のロンドン、ウィリアム、エドマ
 ンド、アンナの兄弟は、親代わりのおばあさんが亡く
 なり、自分たち以外家族がいなくなってしまいま
 した。

そこで、空襲を受けるかもしれないロンドンから安
 全な場所に一時的に移住する学童疎開に参加して、疎
 開先で保護者となる「後見人」を探すことになりました。
 慣れない環境での生活や、新たな人間関係の中で
 の三兄弟の楽しみは
 村の図書館に行くことでした。
 辛い中でも支え合う三兄弟の
 姿に、思わず応援したくなる
 おはなしです。



ゆうびんや
みつばの郵便屋さん

小野寺史宜 著
 ポプラ社

平本秋宏は25歳の郵便配達員、みつばと四葉の地
 区を担当している。兄弟は年子の兄が一人いて、
 ちょっとした人気タレントだ。顔が似ているからよく
 声をかけられる。

バイクでの配達時は安全運転を徹底し、配達の前の
 宛名確認は丁寧にしている。

このおはなしは、そんな
 ゆうびんや
 みつばの郵便屋さんの
 いちねんかん
 一年間のおはなし。
 いつつう てがみ
 一通の手紙がもたらす
 きせき こころ あたた
 奇跡にきっと心が暖か
 くなるでしょう。



りすのパナシ

リダ・フォシェ文／フェードル・ロジャンコフスキイ 絵
／いしいももこ 訳編 童話館出版

りすのキックとルケットに4ひきの子りすが生まれました。名前はパナシ、フォレ、ルタンとフラムです。きょうだいの中でもパナシはやんちゃで、くいしんぼうです。パナシは、ある日、森のばんにんにつかり、おりにいれられてしまいました。パナシは、さびしくておりからにげだしました。はしってはしってとんで巣にかえったけど、巣の中はからっぽ。パナシは、大好きな家族に会えるかな？



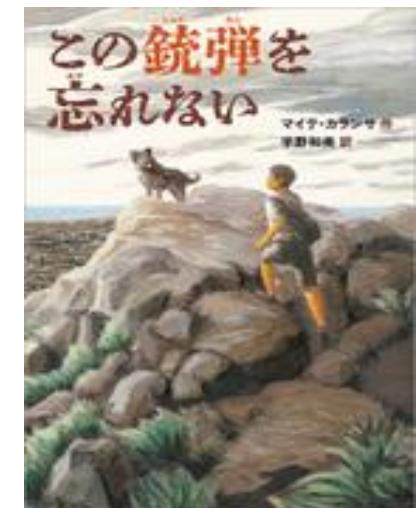
この銃弾を忘れない

マイテ・カラソサ作／宇野和美 訳
徳間書店

みなさんは、ピカソの「ゲルニカ」の絵を観たことがありますか？ドイツ空軍による無差別爆撃を描いた絵画です。戦争の悲惨さ人びとの苦しみを伝えてます。これは、その時代の話。

1938年スペインでの内戦により、家族がバラバラになり村人同士が争うようになった。13才のミゲルは、収容所に入れられた父を助けるため、愛犬のグレタを連れて200km離れたインフィエストにたび旅をすることになる。

オオカミのいる森をぬけ、様々な人と出会ったり、ミゲルは父と会えるだろうか…。



にんじん

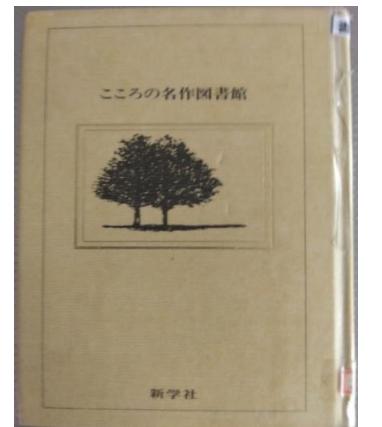
ジュール・ルナアル 著／岸田国士 訳
新学社

みな 皆さんは、今まで劣等感を感じたことがあります
か？

きょうだいかん ひかく 兄弟間で比較されて、はら た 腹を立てたことがあります
か？

とう お父さん かあ お母さんとの関係は、どうでしょう？
「にんじん」とは、ルビック家の末っ子で髪は赤く、
かお 顔がそばかすだらけの少年のあだな。お母さんは、に
んじんをあに あね さべつ 兄や姉とくらべて差別し、つらくあたります
…。

かぞく かてい 家族や家庭とは、どん
なところがいいか？
にんげん あい なに 人間の愛とは何か？
じりつ 自立とは何か？
かんが そんなことを考えさせ
られます。



モモ

ミヒヤエル・エンデ 作／大島かおり 訳
岩波書店

モモは、いつどこからやってきたかわからない孤児
じかんどろぼう はいいいろ おとこ です。“時間泥棒” 灰色の男たちから、時間を取り戻
おんな こ してくれた女の子です。

い セカセカ生きることで、しぶりとった時間を盗む灰
ぬす 色の男たち。人間が秒きざみの時間に追いかけられ、
こころ 心がひからびきっていきます。

みな さんは、どうでしょう？「あれをやらなければ」
「これもやらなければ」と心忙しく生きていません
か。

もっとゆっくり生きる
たの 時間を楽しんでもいいの
かも…。

